



TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

令和7年9月30日

我孫子市小中一貫教育だより
第380号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

「未来に残してつなぐ ふさ カリキュラム」

布佐小学校5年生の総合的な学習の授業で、手賀沼干拓者の井上二郎について学ぶ我孫子の先人の授業が実施されました。本時の講師は、地域学校協働活動推進委員と学校が連携して選任した方が務めてくださいました。

学習は、講師の先生が用意した資料や、拡大した地図を黒板に貼り、子供たちが理解しやすいよう工夫しすすめられました。講師の先生の授業は、インターネット上で検索しても載っていない話が多く、児童たちにとっては、興味を沸かせる内容でした。さらに、なぜ井上二郎は家財を投げ売ってまで新田開発をしたのか。井上家の宿願が手賀沼干拓であり新田開発であることや、後世になり井上二郎の功績をたたえ開発救世碑が建立されたことなどを学びました。

今後、児童たちは、旧井上家住宅を訪れ、学んだことをタブレットで発表していくとのことでした。事前に井上二郎に精通した講師の方からの講話を受けて得た知識を、実際に自分の足で旧井上住宅を探索することでより深い学びになることと思います。今回は、地域学校協働活動推進委員の方と学校が協働して授業を考案するコミュニティスクールのスタイルでした。学校と地域で我孫子の先人の授業を作り上げる様子はこれからの授業の形として未来に残してつなぐことのできるものだと感じました。



旧井上邸を見学してみよう！ 布佐中区オリジナルカリキュラム

布佐南小学校5年生が総合的な学習で、布佐中区オリジナルカリキュラムの授業を行いました。事前に我孫子の先人である「井上二郎」について学び、学校近くの旧井上家住宅の見学に行き学習を深めました。

井上二郎が何をした人なのか、家紋は何か、土地の様子はどうなっているかなど、見学前に学習のポイントを明確にして本時の見学に臨みました。児童たちはグループに分かれ講師の先生から説明を一生懸命聞き、要点をメモに取っていました。

母屋にはたくさんの部屋があり、囲炉裏がある部屋を中心に生活がなされ、全ての部屋を見渡すことができることなど、当時の生活の様子を想像しながら見学を進めました。



また、蔵が母屋よりも高い位置あることを知り、人命よりも米を大切にしていた当時の暮らし振りを聞き、児童たちはとても驚いていました。現代の自分たちの暮らしと当時の人々の暮らしを比較し、その違いから新たな発見をすることで事前学習をさらに深めている様子が伺えました。

今後、今までの学習をもとに個々でまとめた成果を発表する予定です。どのような発表をするのか楽しみな布佐中区オリジナルカリキュラムの学習の様子でした。